

令和2年度江田島市教育委員会経営計画

I 使命

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒が生涯を生き抜く力、社会で通用する力を養う基盤づくりをし、次のステージで活躍できる児童生徒の育成を義務教育の使命とし、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と社会教育施設の整備・充実に努める。

さらに、里海教育では、自然体験活動や探究活動など、自然に親しみ、自然に学ぶ場や機会の整備・充実に努める。

これらの理念を合わせることで、相乗効果を生み、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II めざす姿

【児童生徒像】

○生涯を生き抜く力である「知（学力・技能）」「徳（道徳心、人権尊重、他者理解）」「体（健康、体力）」がバランスよく育成されるとともに、それらを活用する力や社会性が育成されている。
また、生命を尊び、自然を大切にし、郷土を愛する豊かな心が育成されている。

【学校像】

○組織的な学校体制のもとで、教職員を育成し、学校・家庭・地域の連携により、信頼される学校づくりを目指している。

【市民像】

○文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人ひとりが、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。

III 現状分析

【学校教育】

○教職員の懲戒処分については、令和元年度も発生していない。

（平成28・29・30年度も発生していない。）

○令和元年度全国学力・学習状況調査の平均正答率については、小学校は、国語、算数ともに全国平均を上回った。中学校は、国語は全国平均を上回ったが、数学は下回った。

（平成30年度全国学力・学習状況調査の平均正答率については、小学校（国語・算数）及び中学校（国語・数学）の全ての実施教科で全国平均を上回った。）

○生徒指導上の諸問題において、令和元年度不登校児童生徒の割合は、小学校0.83%（6人）、中学校1.81%（7人）である。

（平成30年度不登校児童生徒の割合 小学校0.74%（6人）、中学校1.74%（7人））

○令和元年度体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数の割合は、61.8%である。

（平成30年度体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数の割合 82.6%）

【生涯学習】

○令和元年度の生涯学習講演会、人権学習講演会、市美術展の来場者について「とても満足した」の割合は、58.3%であった。（来場者アンケート）

○スポーツセンターの令和元年度利用者数は26,717人、総合運動公園の利用者数は、14,926人である。

○図書館の令和元年度年間貸出数は81,843冊、来館者数は40,674人である。

（大柿図書室は令和2年度～4年度中休館のため含まない。）

【里海教育】

○さとうみ科学館の令和元年度来館者数は2,446人である。

（館外事業・入館事業を含む総利用者数は、7,957人である。）

IV 目標及び取組

| | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 具体的な取組・方策 |
|------|-------------------|------------------------|---|
| 学校教育 | 信頼される学校づくりを推進する。 | 教職員による不祥事を0(ゼロ)にする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 服務研修の充実に向けて、各校が実施した服務研修の好事例を活用し、市主催研修において指導助言を行う。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 学校における「働き方改革」及び開かれた学校づくりの推進(HPの充実等)に向けて、主催研修等において指導助言を行う。 |
| | 児童生徒の学力の向上を図る。 | 習得した知識・技能を活用する力を向上させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業改善が組織的に推進されるよう、『学びの変革』推進協議会を活用し、指導助言を行う。 ○ 江田島市小中学校学力調査を活用し、学力向上に係る事前の取組が各校で効果的に行われるよう、教務主任研修等において指導助言を行う。 ○ 江田島市小中学校学力調査の結果を踏まえ、学力向上に係る事後の取組が、各校で組織的に行われるよう指導助言を行う。 |
| | 児童生徒の豊かな心を育成する。 | 不登校児童生徒への取組を充実させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校やいじめ防止につながるアンケートを実施し、教育相談体制が充実するよう指導助言を行う。 ○ 各校の不登校傾向の児童生徒の状況把握及び実態に応じた指導助言を行うとともに、不登校児童生徒の状況が改善するよう、再登校に向けた指導助言を行う。 ○ 各校の道徳教育及び体験活動が充実するよう、「江田島市道徳教育推進協議会」を活用し、指導助言を行う。 |
| | 児童生徒の体力向上を図る。 | 体力・運動能力を向上させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育科授業において、体力向上に係る取組が充実するよう、主催研修及び「江田島市体力向上推進協議会」を活用し、指導助言を行う。 ○ 業間運動及び部活動等において、体力向上に係る取組が充実するよう指導助言を行う。 ○ 児童生徒の食生活が充実するよう、学校・家庭・地域が一体となった食育推進に係る指導助言を行う。 |
| 生涯学習 | 魅力ある事業づくりを推進する。 | 実施事業に対する満足感の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 市民ニーズを捉え、様々な学びに対する関心を高める企画内容とする。 ○ 事前準備や運営に係る調整を徹底し、円滑な運営に努める。 ○ 学校や関係団体と連携を図ると共に、市広報やSNSだけでなく、他部署の広報媒体なども活用し、PRの強化を図る。 |
| | 健康づくり、体力づくりを推進する。 | 公共スポーツ施設の利用促進を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ推進委員や関係団体等と連携し、総合運動公園やスポーツセンターを活用した生涯スポーツ体験会を開催する。 ○ 体育協会、eスポーツクラブ、スポーツ少年団への加入・参加を推進する。 ○ HP・広報等を活用し、社会体育施設や活動をPRする。 |
| | 図書館の充実を図る。 | 図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「スタンプラリー」「読書貯金通帳」の活用や、参加型講座、読み聞かせ等の実施により、自主的な読書活動を促す。 ○ 「子ども司書」養成講座を実施する。 ○ 窓口拡大サービスや、施設利用に関するチラシ等を関係施設へ配布・掲示するなど、PRの強化に努める。 |
| 里海教育 | さとうみ科学館の認知度を高める。 | さとうみ科学館の利用者の増加を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 長期休業中の土日開館を試験的に実施する(実証実験)。 ○ 長期休業中、サイエンスショーやものづくりなどワークショップ形式の来館事業(サイエンスラボ・サイエンス工房)を実施する。 ○ 広報紙、SNS等の活用により、PR強化を図る。 |